



ママ・パパが

自分を大切にする こと

それが 子どものしあわせ

につながっています

多治見市では子どもたちにこんなことを伝えています。

た のしくらす権利

じ ぶんをたいせつにする権利

み んなとなかよくする権利



これって子どもだけ？
おとなにもあてはまる
…よね？

次のページへ➡

こんな場面みたことありませんか？



ほかに、こんなこともありませんか？



「これって私だけ!？」 先輩ママ・パパの体験談

息子が2歳の頃。スーパーで買い物直後(両手がふさがっている時)に限って抱っこを要求。今は無理と伝えても「イヤ!」ばかり。抱っこしてと懸命に両手を広げてくる。すがりつく拍子に足を滑らせこけるのはもう予想通り。寝転んで暴れている姿勢からの抱き上げはきついが、今度は抱っこも「イヤー!」と大号泣。「降りる?」「イヤ!」「抱っこ?」「イヤ!」結局どうしたいの? 何が正解? 周囲の視線が痛い。私が泣きたかった!!

(元2歳さんのママ)



2歳になるとイヤイヤ期が始まるのと、色々なものに興味を持ち出します。あれやりたい。これもやりたい。とにかく自分で色々なことをやりたがります。

次から次にオモチャを出したり、物を投げたりして正直イライラすることもあります。そこでおとなが怒ってしまうと子どもの興味だったり才能を潰してしまうかもしれません。「~したらダメ」ではなく「~しようね」と言って妻と見守ることを大切にしています。イライラする気持ちもすごくわかります。そんな時は深呼吸して決して子どもにあたってしまうないようにしています。

(2歳さんのパパ)



あなたが笑顔になると、子どもも笑顔になる。
あなたがしあわせになると、子どももしあわせになる。

「もぉー！ イヤ!!」

そんな風に思う自分をせめることなく、
自分と子どもを守るヒントがここにあります。

次のページへ➡

ママ、パパ、いつもありがとう！



完璧になんてできません。
子どもが生まれたときは、ママ・パパも1年生。
失敗しながら一緒に成長していこう。

自分のすべてを子どもに注がなくてもいいんだよ。
少しでも自分のために使おうね。



つつい比べてしまうけど
成長や個性は人それぞれ。
なんとかなる！
でも気になるときや不安なときは
迷わずSOSを出そう。

あなたの周りにはあなたを「助けてくれる人」がたくさんいます。
多治見市も、子育て支援NPOも、あなたを見守っています。

困った時や不安な時は
「すぐに」「いつでも」「どんなことでも」
気軽に話してくださいね。

リーフレット配布元

◆ こちらのリーフレットは「多治見市子どもの権利委員会」が企画・作成しました。◆

発行：多治見市環境文化部くらし人権課

多治見市日ノ出町 2-15 TEL：0572-22-1128 FAX：0572-25-7233

環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。

2021年3月発行